

町内3カ所で開催した「町民と議会の懇談会」でいただきましたご質問やご意見・ご要望について、回答をまとめましたので、ご報告します。

令和6年度 遊佐町議会
「町民と議会の懇談会」
報告書

【開催日時・場所・参加者数】

令和7年2月1日（土）午後1時30分～

- | | | | |
|--------------|------|-----|--------|
| ・遊佐町役場議場 | (A班) | 23人 | 【P1～】 |
| ・稲川まちづくりセンター | (B班) | 6人 | 【P6～】 |
| ・高瀬まちづくりセンター | (C班) | 11人 | 【P11～】 |

計 40人

町民と議会の懇談会

【会場及び班体制】

令和7年 2月1日(土)	13:30～	遊佐町役場議場	A 班
	13:30～	稲川まちづくりセンター	B 班
	13:30～	高瀬まちづくりセンター	C 班

A班 遊佐町役場議場		B班 稲川まちづくりセンター		C班 高瀬まちづくりセンター	
役割	氏名	役割	氏名	役割	氏名
班長	土門 治明	班長	高橋 冠治	班長	本間 知広
進行	佐藤 俊太郎	進行	菅原 和幸	進行	斎藤 弥志夫
報告	今野 博義	報告	渋谷 敏	報告	那須 正幸
記録	伊原 ひとみ	記録	遊佐 亮太	記録	駒井 江美子

※ 高橋冠治議長・・・議長挨拶のため各班を訪問。

【テーマ】

- ・まちづくり政策について
- ・遊佐町議会の活動
- ・意見交換

令和6年度 町民と議会の懇談会報告書

第A班

開催日時	令和7年2月1日（土）午後1時30分～3時30分
開催場所	遊佐町役場議場
主な出席者と 参加人数	遊佐地域づくり協議会 会長 佐藤 憲三氏 ほか22名
議 会 側	班 長 土門 治明
	進 行 佐藤 俊太郎
	報 告 今野 博義
	記 録 伊原 ひとみ
話し合い内容（要点筆記）	
<p>＝キャッシュレス決済事業＝</p> <p>質問／ 物価も上がり農家も大変で苦しい。PayPay 事業を1回目否決されたことで630万円増額した。反対のための反対なら町はよくなると思う。町民の目に見えるようなことをやってほしい。反対した人の意見を聞きたい。（拍手）</p> <p>（回答）</p> <p>反対した理由として、PayPay だけに頼るのは問題があると思う。また、町民全員が使えるシステムではないということ。国からの予算がまだつかない時であり、全ての財源を町からの持ち出しという説明であった。7月の水害の被害額が確定していない中、町の積立金（財政調整基金）を充てていいのか総合的に判断して賛成しかねると考え、反対に票を入れた。賛否両論あると思う。</p> <p>（回答）</p> <p>反対の理由として7月の水害の被害額が見えていない中6,500万円も町のお金を使うことに不安であった。国の交付金が決定してからということで、一旦待ってくれ、との意味で反対した。1月に交付金が決定し、それならばと1月に賛成した。また、PayPay より商品券の方がいいのでは、と申し上げた。</p> <p>質問／ 商品券もいいと思うが、PayPay があるのだからそれを利用しない手はないと思う。代案はいいが、どこに要望するのか。中央の人に頼んでほしいなら私も納得する。</p> <p>（回答）</p> <p>中央とかでなく町でできることは町で、と考えている。議会では商品券かPayPay という執行権は持ち合わせていない。</p> <p>質問／ 漏れ聞く話では1事業者の利益誘導という話をしていると聞いた。水</p>	

害優先は理解できる。しかし今、限界にきている。工業はやれているが、商業は厳しい。過去も PayPay に助けられた。商業のことをわかっていない。議員は不勉強。PayPay は活路を見出せるということで感謝。議員は町民に対して愛はあるのか。もし商業のことがわからなければ議員の皆さんと事業者との話し合いの場を持たせてもらえれば、と思っている。(拍手)

(回答)

12月と1月の説明の際、町の積立金6,500万円の取崩しに一番の疑問。その後、国の交付金が決定したことにより1月の臨時会で可決。また、国の交付金は、PayPay以外にも、水道料金の減免や灯油券配布などの利用もできた。これらは議員の中でも議論した。PayPayによって町に3億5,000万円のお金が落ちるのは承知している。だが、商業者に限らず一般の方も還元があるような使い方をしてほしい、と考えていることだけ理解してほしい。

(回答)

議員が不勉強ということは肝に銘じておく。各事業者が努力していることも理解している。

質問／ 12月で否決、1月に附帯決議付きで可決されたが、6回もやっている実績がある。何を今更と思う。遊佐町はPayPayと低所得者への3万円と2万円の対応策となっていた。2本立てなのか。

(回答)

今回は2本立て。物価高騰のため低所得者に対して3万円と児童一人当たり2万円。そしてキャッシュレス決済の2本立てだが、低所得者の分は町独自でなく、国の政策でひも付け。

意見／ 自治体ごとにいろんな対応がある。町でも合った対応してほしい。

(回答)

担当部署に申し伝える。

意見／ 6回のPayPayで14億円の利益があったことを知っているか。役場職員に聞くと何でも教えてくれる。議員の方も職員に聞いてほしい。

意見／ PayPayはお年寄りが使えないからという理由で反対だと若い人が使えなくなる。今若い人はキャッシュレスの時代である。

(回答)

PayPayだけに反対しているのではなく、PayPay1本だけに限られることも少し問題かと。ただPayPayに反対しているわけではない。町のために、どのように役立っているのか検証すべき。

=議員定数=

質問／ 人口減少問題に関して。国民が寄ってたかって補助金に頼ることに危惧している。人口も減ってきているので議員定数を減らすことも考えるべきと思うが、どう考えているのか。

(回答)

議員定数削減の件、今は12名だが、かつては22名。三川町は10名だが10名以下では運営的に容易ではない。今のところは意見を出す人はいない。

意見／ 8名ぐらいでいいのではないか。(拍手)

意見／ 町議の数は本当にこれで正しいのか。議員報酬を調べてみた。8人に減らすと4年間で6,000万円、10人に減らすと4年間で3,000万円税金の削除になる。問題提起しても具体的に地道な活動をしていることが見えない。この定数でこの報酬に見合った活動をしているのか考えて検討して欲しい。(拍手)

(参考：議員報酬の令和6年度予算額は34,332千円である。)

(回答)

議会の会議の中で話し合っていきたい。

=部活の地域移行=

意見／ 施設整備もできていて、やりたい部活があっても親の送迎などの理由で部活に参加できない生徒がいると聞く。このような生徒をなくすために町から何とかしてもらいたい。指導者に報酬を与えるなど対策を講じてほしい。

(回答)

指導者の件は町でも予算を出して考えている。

=新・道の駅整備事業=

質問／ 新・道の駅建設の現状と財源について教えてほしい。

(回答)

私たちのところにも現時点における詳しい情報は入ってきていないが、基本設計が終わったところで、約33億円の総事業費であると聞いている。財源については、正確な数字はまだ示されていないが、国の補助金と町の基金を合わせても33億円を補えないと回答を得ている。残りは借金となるため、事業の中身をしっかりと精査していかなければならないと考えている。

質問／ 補助金に大きな期待はできない。町民として不安なので聞いた。当初示

されていた 29 億円から 33 億円になった内訳を教えてください。

(回答)

金額増の主な理由は建設工事費と材料費の高騰だが、当初の計画より広がったことも建設費の増に繋がった。

=その他=

意見／ 最近の議会はやれ反対だと時間がかかり、スピード感がない。自覚してほしい。昔の議員は時間を惜しまずに各地を回りコミュニケーションをとっていた。そういうことが大事だと思うが、どう思うか。ある一部の議員は代案もなく反対する。民主的に代案を出して進めてもらいたい。

(回答)

代案に関しては質疑の中で出している。ただ、議員は予算に対して、こちらがいい、と本会議でも述べているが、それを取り下げて中身を変えるという権限はない。何でもかんでも反対ではない。議会だよりの中の QR コードで本会議の生の映像が見られるのでご覧いただきたい。地域をもっと回ったほうがいいという意見は率直に承る。

意見／ スピード感をもってやってもらいたい。

(回答)

議会の懇談会の中でも検討する。

意見／ 町の 7 割の方が開発米を作付している。その米は J A より 500 円安い。一生懸命作った米である。農業委員会会長は「J A に出さない、高い業者に出さないでください」という発言をした。農業委員会会長の発言をどう思って聞いていたのか。検討をお願いしたい。

(回答)

日本では発言の自由がありすぎるはない。発言はその人の責任。尚、頂いた資料を熟読してから後ほどゆっくり考えたい。

意見／ 議員の皆さんは賛否両論あると思うが、活発にやっていることに感謝している。

質問／ 議会立法はありますか。

(回答)

やろうと思えば可能ですが、今まで一度もありません。

意見／ 2～3 年前まで否決することすらしなかった。今は活発化している。反対も賛成もあっていい。遊佐町の平均農業者所得は 222 万円、庄内で一番低い。所得を上げれば人口問題も解決する。議員の皆さんから農業所得を上

げるよう頑張ってもらいたい。

意見／ 令和6年度の政策提言の説明をいただいたが、令和5年度の提言について総括という意味で「令和6年度政策提言についての反映状況」の報告があった。一部進行改善に向けている部分もあるが、まだ手付かずの政策もあるので、再検討していただいて令和7年度に生かしていくことをお願いしたい。

(回答)

いただいた貴重なご意見を持ち帰り報告書として全会場分をまとめ、町の反映状況と今日の意見を来年度に向けて反映したい。

令和6年度 町民と議会の懇談会報告書

第B班

開催日時	令和7年2月1日（土）午後1時30分～4時6分
開催場所	稲川まちづくりセンター
主な出席者と 参加人数	稲川まちづくり協会 会長 土門 勝子氏 西遊佐地区まちづくりの会 会長 伊藤 新一氏 ほか4名
議会側	班長 高橋 冠治
	進行 菅原 和幸
	報告 渋谷 敏
	記録 遊佐 亮太
話し合い内容（要点筆記）	
<p>＝防災・災害対策とDX推進＝</p> <p>質問／ 提言の中にハード的な部分が入っていない。昨年の水害は低地への浸水、内水氾濫だったが、同じレベルでまた降ればまた同じような状況になるので、水を逃す施設の整備が必要になると思うが、既に計画されているものがあれば紹介いただきたい。簡単に言えば遊水地を作るという対策も考えられる。もうひとつは災害情報の関係になる。内水氾濫と知ったのは年末のことで、それまでは川が決壊・越水したと聞いていた。詳細な情報をLINEでも結構なので流してもらいたかった。</p> <p>（回答）</p> <p>今までの治水対策のおかげで越水はしなかった。ハード面については浚渫を県にお願いしてやってもらうことになる。日向川・月光川水系緊急治水対策プロジェクトが進んでいて、吹浦ではポンプで排水をするしかなかったが、検討の対象に入っている。遊佐小学校のところでも計画が進んでいる。遊水地についても考えなくてはならない。内水処理は市町村の管轄なので、議会としても確認して進めていく。災害情報については、どこでどのような被害が出たかというLINEによる情報発信の記録はない。恐らく情報を把握できていない状況だったが、7月26日に損害箇所の情報を求める発信があった。そこにいる方が事態を一番把握できるので、町が町民から情報をもらう仕組みを検討する必要はあった。</p> <p>質問／ 公式LINEはあるが、登録していない方にはどのように情報を流すのか。7月25日の際、集落の危機感がゼロだったので、危機感を伝えるようなこともしてほしい。</p> <p>（回答）</p> <p>災害情報通達の総括を町に要請している。LINEについては情報の発信の仕方にも課題があった。発信部署が決まっていて、情報発信にタイムラグ</p>	

が生じてしまっていたので、緊急速報メールも流すようになった。役場内で情報発信の改善は行っているが、重ねて要望したい。大雨災害の他に、地震や噴火、津波という災害も想定される。遊佐町の分厚い防災計画が周知されていないことが要因のひとつ。町民の方がよくわかるような集約版を全戸配布してもらいたいと伝えている。

質問／ 公式LINEや議会のタブレット導入がDXの終着点ではない。もっと踏み込んだデジタル化を提言して欲しい。町のホームページ改修も進んでいるが、今のホームページは見にくく、移住のPRをしようとしても昔っぽくて遠慮したくなる。執行部だけでなく地域おこし協力隊の意見なども取り入れてどうか。チーム遊佐とよく言うが、遊佐の顔になるホームページなのでチーム遊佐で検討して欲しい。

(回答)

議員がタブレットを持つことで、約3年間で印刷代換算450万円の削減になった。郵便料金が上がり、土日の郵便もなくなっているのも、そこでの経費削減と効率化にもつながっている。デジタルで水位の確認が出来るようになる。

=医療福祉の充実=

質問・要望等の発言なし

=人口減少問題=

質問／ 人口減少により、夜の交通手段がない。タクシーも運転代行もつかまらないので、夜の遊佐町に出かけられず、酒田に行く方が安心できる状況である。いろいろな方法で交通手段の確保はできるので、どんどん進めてもらいたい。まちづくり協議会で行う事業の参加者が減少しており、議員にも現状を把握してもらいたい。

(回答)

地域間交通を行政の内側だけでなく、庄内議長会のテーマとして行政側に投げかけている。来年度の目標は地域医療の存続に向けたネットワーク作りを医療機関同士でやっていくこと。日本海総合病院を中心に国内でも先進的な様々な取り組みが行われている。商店が減少しているのを実感している。若い人が住み続けるのに飲食店が必要だということで、商工会が飲食事業に手厚い補助金を出したことで若い人の定着率が上がった自治体の例も聞いている。その辺りも協議していきたい。洋上風力事業者が決定したが、その事業者の選定基準には地域活性化が含まれており、遊佐町はこれに期待している。定住促進施策や人口減少に関する町の施策はたくさんあるが、使われているのはごく一部という状況にある。各地区・各集落

にはそれぞれの悩みがあるので、それぞれに対応した形での援助なりをお願いしたい。

質問／ 遊佐町の高齢化が進んでおり、同時に少子化も激しく、6年後の遊佐小学校の1年生は1クラスになってしまう。消滅可能性自治体という話もあるが、5年先、10年先の人口予想を鑑みながら、議会の定数に対する考え方を聞きたい。

(回答)

今は定数12名だが、20、16、14、12と減らしてきた。かつては3つの常任委員会があったが、定数14名のときに2つにした。人口4千人規模の町村で定数10名というところもある。議員の定数とその自治体の人口の比率で見ると、山形県内だけで考えても遊佐町は決して議員の数が多くはない。人口1万人を超えると見るべき範囲も広がるので、これ以上減らすのは大変だと考えている。12人の目と耳があって、それをいかに町政に反映するか、議会の最大の役割は執行部の予算に対して健全な執行ができているか。平常時であれば90億円強の予算だが、それをチェックするには議員の人数が必要になる。しかしなり手がいない状況。まずはこの12名でしっかり頑張っていこうとしている。町が活性化するには議会が活性化する必要があり、選挙になる必要がある。私が議員になったらこういうことをするんだと話す、そういうなり手を育てることが大事だと思っている。

質問／ 地域おこし協力隊は優秀な方ばかりなので、もっと町に貢献してもらいたい。今までにどれぐらい来ていて定着率はどのような状況か。

(回答)

30人、6割程度と見ている。地域おこし協力隊が今現在38人いるという自治体では、今までに90人、家族合わせると160人、定着率7割というところがあった。農業関係の協力隊定着率は100%ということだ。営農できなくなりつつあるところに協力隊が入って、3年間お世話になってノウハウを吸収するという流れが出来ている。地元の人だけが地元の農業を担うという考え方を変えた方がいい。子供を産み育てるのもいいが、関係人口、交流人口、定住人口、外から増やすという考え方もあって良い。協力隊に委嘱する内容についても、もっと町の課題に直結するものがあって良い。その方が協力隊の任期後の職業に結びつきやすくなり、定着にもつながると思う。

質問／ 飲食店がないと人がよりつかない。居ぬきの形でやりたいという人もいるが、移住者でないと出来ないという縛りがあると聞くがどういうことか。

(回答)

リフォームの予算として移住者関係のものを使っている物件なのでなか

なか難しい。吹浦の人が一番困っている。

＝遊佐町公共施設等の適正管理＝

質問／ 町の広報で遊佐四大祭の資料展示室を旧小学校に用意するという話があったが、それはどこまで進んでいるか。

(回答)

そういうことを進めているというのは把握していない。

質問／ 複数の事業者が旧小学校の使用を計画とあるが、それはどこまで進んでいるのか。避難をするのは災害の時だけで、他にも避難所があるのであれば、そこを活用したいという事業者がいれば企業誘致なり校舎をリフォームして宿泊施設に使うというのものもあると思える。事業者にひとつの校舎を任せて地域振興を任せるというのもあると思うが、いかがか。

(回答)

餅の加工場の計画は進んでいる。使いたいと手を挙げている事業者があるという話は聞いているが、教育財産で残す部分と町で使う部分について、明確な答弁はなく、町としても貸すとも何も言えない状況にある。

＝自然環境の保護と「ゼロカーボンシティ宣言」＝

質問／ 森林環境譲与税活用基金はどれほどの金額なのか。

(回答)

令和 5 年度末時点で 24, 171, 522 円。金額は増加傾向にある。

質問／ 平成 2 年以前に植えられた森林はどういう対処の方法になるのか。

(回答)

平成 2 年以前に植林された森林は、Co₂吸収源にカウントされないという記載があった。切って、使って、植えるという、森林環境譲与税活用基金を使った事業を考えていかないとならない。

＝その他＝

質問／ 自然災害の他に人的災害も考えないといけない。闇バイトによる強盗、無差別殺人というのが都会ではあるが、地方にも進みつつある。町をもっと明るくしてもらいたい。防犯灯を増やす、防犯カメラを数多くつけてもらいたい。

(回答)

防犯灯は集落単位なので、集落で要望があれば役場につなぐ。子供たちがバスを降りて帰るとき、防犯灯が必要と思われる場所が多かった。父兄にお迎えをお願いしているがなかなかうまくいっていない。荘内銀行の交差点にカメラがひとつあるが、あれを作るのもいろいろあった。必要であ

れば声をあげる。教育施設の周りには先んじて整備しないとならないと思っている。

質問／ 遊佐部会に洋上風力発電事業者が来た。想像の出来ない規模の事業が遊佐町の沖合で動こうとしている。泊まるどころ、交通手段、飲食、本当は先行投資して作っておかないとならない。外国人も多い。それに対しても町としてどういうアクションを起こすのかが見えてこない。30年間の事業になるので、事業者が30年住みたいと思える施策をすべき。事業者の持つネットワークを活かして交流人口が増えるように進めて欲しい。

(回答)

酒田の基地港湾が出来るのがもう2年半。基地港湾が出来て部材をあげて組み立てる、2030年6月には発電事業が稼働するので、かなり時間的にはシビアである。しばらくは環境影響調査ぐらいの動きになる。就業者もかなりの規模になるが、宿泊するところもままならない状況。酒田では5つのホテルを建てようとしている。2030年6月が遊佐沖だが、酒田沖もあり、鶴岡沖もあるかもしれない。ホテルを建ててもその期間だけでペイできるかもしれない。遊佐はどうかというと、遊佐はない。議会として遊佐町の提案を進めながら、いかに地域に経済効果をもたらすかを真剣に考えなければならない。

令和6年度 町民と議会の懇談会報告書

第C班

開催日時	令和7年2月1日（土）午後1時30分～3時40分
開催場所	高瀬まちづくりセンター
主な出席者と 参加人数	高瀬まちづくりの会 会長 佐藤 源市氏 ほか10名
議 会 側	班 長 本間 知広
	進 行 斎藤 弥志夫
	報 告 那須 正幸
	記 録 駒井 江美子
話し合い内容（要点筆記）	
<p>=ふるさと納税=</p> <p>質問/ 昨年水害の8月以降返礼品のないふるさと納税があったが、いくら集まったのか。ふるさと納税の使い道は、町民にどのように知らせているのか。議会だよりかホームページで知らせてほしい。</p> <p>(回答)</p> <p>返礼品のないふるさと納税は委員会でどのように振り分けるか決めており、被災された方にお見舞いという形で渡している。金額については、確認してお知らせする。</p> <p>=議会関連=</p> <p>質問/ 議員報酬が今の時代20数万円というのは低い気がする。議員自身はどう思っているか。同じ規模の自治体と合わせていると言うが、もう少し議員に報酬をあげてもいいのではないか。予算がないから人を減らすというのは、今はいいかもしれないが今後が心配。先を見据えて動いてほしい。</p> <p>(回答)</p> <p>正直、報酬は低い方から数えたほうが早いですが、議員は、12人それぞれの考えがあると思う。報酬金額は、明示されていて、それでもやると手を挙げた人ばかりだと思う。ただ、もう少し上がってもいいのではないかと思う人はいると思う。報酬等審議会があり、町長の諮問に応じて報酬等審議会で審議され決定する。</p> <p>(回答)</p> <p>議員のなり手不足もあり、立候補しやすい状況が必要だと思う。なかなか現状では報酬を上げるのは難しい。今12名いるが、議論や採決では最低限必要な数だ。議会活動などを考えるとこれ以上人を減らして報酬を上げるのは難しい。今後の課題だと思う。</p>	

＝7月25日水害関連＝

質問/ 7月25日水害の吹浦避難所開設について。マニュアル通りにやるのは難しいと体感。振り返りでは、一般住民の人よりもっと防災に携わる人たち、防災で研修や経験を積んだ人たちを増やしていく必要があると感じた。防災士が遊佐町には35人いる。もっと増えてほしいと思う。議員で防災士を持っている人はいるのか。議員にも防災士の資格を取ってほしい。議会でも防災士のことを話題にして、町民の方に広めてほしい。

(回答)

避難所開設を21時くらいまで手伝いしたが、来た人だけでやるというのは、見ていて不可能だと感じた。炊き出し、ベッドを作る、物資を運ぶなどが大変だった。消防団の協力が大きかったと感じる。マンパワーは必ず必要。被災されていない人たちからの協力も必要。議会でもいろいろな形で情報発信が必要と考える。

質問/ 避難所開設の際の旧小学校のネット環境を充実してほしい、電話会社によったのかもしれないが、電話やネットがつながりにくいという声を聞いた。空き校舎の利用をしていくのだと思うが、早く旧小学校を有人施設にしてWi-Fi環境を充実させてほしい。

(回答)

Wi-Fiの問題は、避難場所の宿町四、五の公民館でもあった。公民館なのでWi-Fi環境の整備はされていない。場所によっては、ラジオやテレビもなく情報が入ってこないという状況。吹浦地域は、電波状況が良くない。議会では、DXも踏まえて推進していきたい。

質問/ 防災備蓄品購入支援事業の手続きが難しく、高齢の方が一人で手続きするのは大変。高齢の方こそ、こういう事業を活用してほしい。吹浦地域では、防災士が補助金の説明をして、実際の防災グッズを見てもらってどれが必要か見てもらった。ただ、申請手続きは手伝いが必要だと思う。

(回答)

手続きが必要でなかなか大変だった。タイムロスがあるので、ネット購入の際などは値段が変わる場合もあり注意が必要。お手伝いが必要とのことだが、役場だけではカバーしきれないこともある。行政、議会、住民の皆さんと周知を図ってやっていきたい。

質問/ 東山の簡易水道がまだ水が来ない状態。まだ東山の方は風呂に入っていないのではないかと心配している。110mあたりのドッグランドのところなどはできてない。簡易水道のお金もなくなっているため修理がままならなくなるのではないかと心配している。

(回答)

担当課に確認したところ。東山の水道は通っている。各家には通っており風呂には入っていると思う。

質問/ 7月25日の水害で避難所開設や、ボランティアセンターで活躍された議員もいる。災害でどんなことをしたのか1人ずつ知らせてほしい。議会の活動になるのか議員の活動になるのか、

(回答)

鹿野沢など被害があったが、勝手に行けないと思いボランティアセンターが立ち上がるのを待って、何日か活動した。議会からの指示はなかったが、個人でできることと考えて行動した。

(回答)

遊楽里の災害ゴミの処理場をボランティアセンターは通さずに行った。2日間くらいは手伝いをした。災害時当日は避難所開設の手伝いをした。

(回答)

六日町に毎日、状況を聞きに行った。ボランティアセンターが開設されたので、お盆くらいまでは可能な限り行った。吹浦にも行った。地域で状況が違ふと感じた。できることできないことがあるので、自分でできることを探してやっていた。議会としては号令かけてというのはなかったと認識している。

(回答)

大変な災害だったが、西遊佐、稲川、高瀬は、比較的被害がなかったかと思う。西遊佐まちづくりセンターに行ったが、避難してくる人はあまりいなかった。自分で川の水量を見に行ったりした。議会で号令をかけて何かするという形はなかった。

意見/ 議会活動、議員活動を日常活動も含めて町民が困っているわけなので議員活動の中で直接そういう場に足を運ぶのは大事だと思う。議会として何かできることがないか話しあう場があっても良かったのではないか。

(回答)

組織体制で議会議長は災害対策本部に入れたい。議会で何もしてないということではなく、地域の情報収集を行ってもらいたいとの指示はあった。今後の対策として協議していく。

＝洋上風力発電事業＝

質問/ 洋上風力発電に利害関係者でずっと関わってきた。遊佐町の将来像と地域振興策が大事だと思う。振興策に遊佐町民がもっと関心を持つべき。どうやって魅力ある町にするかという将来のことを考えた大事な議論をするべき。

(回答)

町の様々な施策は、活性化、振興のためと理解している。洋上風力は、インパクトが大きいので期待度も大きい事業。いろんな方面で、どうやって若者を定着させるか、人口を減らさないようにとやっていることでもある。いろんな可能性含めて取り組んでいかなければならないと感じながら活動していく。能動的、主体的に地域も取り組んで前に進んでいかないといけない。

意見/ 振興計画に期待している。そうでなければあんまり積極的には賛成しない。

(回答)

特別委員会で1月23日に県のエネルギー政策推進課課長を招いて洋上風力事業者についての研修をした。山形県でも人口100万人を切る時代。子どもたちに残す活性化のための洋上風力といっても、子どもたちが地域に残ってくれないと人口減少は進む。遊佐部会を通して情報が公開されていくと思うが、議会としても町とどのように後押しできるのか考えていきたい。

補足意見/ 30日の部会に出席した。地域振興策については7月ごろをめどに立ち上げると聞いている。漁業、漁業など専門部会いろんな部会を立ち上げ、地元の意見をすいあげた形で策定されると思われる。議会としてもそのような動きを見ながら、業者の動きに注意してほしい。次回の遊佐部会は、法定協議会の前の9月に開かれると聞いている。それを注視して見守っていきたいと思う。

=新道の駅整備事業=

質問/ パーキングエリアタウンの造成工事が進んでおり令和9年度には、新道の駅ができる。設計は羽田設計事務所、運営は庄交コーポレーション(管理運営予定:JVジオ鳥海パートナーズ)。羽田設計事務所は、大江町の道の駅でも似たようなコンセプトで作っていた。あつみの道の駅も同じで全景は遊佐とほとんど同じ。問題は運営の中身。事業者とどれだけすりあわせていくのか。議会の一般質問として3人の議員も不安に思っている。遊佐町の振興と活性化のため議会ももっと前のめりになって運営について議論すべき。先ほど話題になった洋上風力もひとつ。10年、20年の振興策につながるための中身の充実をはかるため議論していただきたい。町、事業者に訴えてほしい。

(回答)

しっかりやっていきます。

(回答)

基金も含め、莫大な金額がかかると予想されている。昨年9月では建設

費は 35 億円、それに対しての財源は町の基金も含め 17 億円しかない。用地取得費は入っておらず総額 40 億円程の事業になる。町民の負担が大きくなっているのに対し町民に還元する事業内容ではないのかなと思っている。見方を変えていく必要がある。町民の不安を解消するように調査をしていく必要がある。

=空き家対策=

質問/ 身近なところで空き家がかなり増えてきている。遊佐町の空き家の状況、対策などはホームページで紹介されているが、これからどんどん増えるのではないか。賃貸住宅の話もあったが、老朽化すればボロボロになる。町の荒廃に繋がる。どういう方法がとれるのか。

(回答)

遊佐町は人口が減っているが世帯数は増えている。実家から若い世代が出て遊佐町に新しく家を建てる、賃貸アパートに住むという現象。固定資産税が高くなるが古い空き家で住まないのであれば更地にするのをおすすめする。遊佐町では補助金も出る。年々解体費は上がっているので早めに解体する、使えるのであれば自分でリフォームするなどし、賃貸するなど対応してほしい。

(回答)

高瀬地域、吹浦地域では、土地を借りて家を建てている人も多い。借りているときは土地代を払えばいいが、誰も住まなくなった家に新築の家を建てるにはその土地を買わなければ建てられない。解体して返さなければならぬというところもある。事前の契約の確認が必要だと思う。

=その他=

質問/ 農道などの法定外公共物に関して、利用の妨げになる立木など除去してもいいよと条例などあればいいのだが。水路は土地改良区、道路は地域生活課と担当がまたがっていて大変。

(回答)

吹浦地域の宿町五から小野曾に行く道路に木が倒れそうになっている。倒れそうな木は町では切れない。道路に倒れ、邪魔になった木は処理できる。倒れそうになっているものは地権者の方に相談してほしい。かかった費用の見積もりを町に出せば少しは助成がでるとのこと。現在条例はない。法定外公共物に関しては地域生活課に相談願いたい。